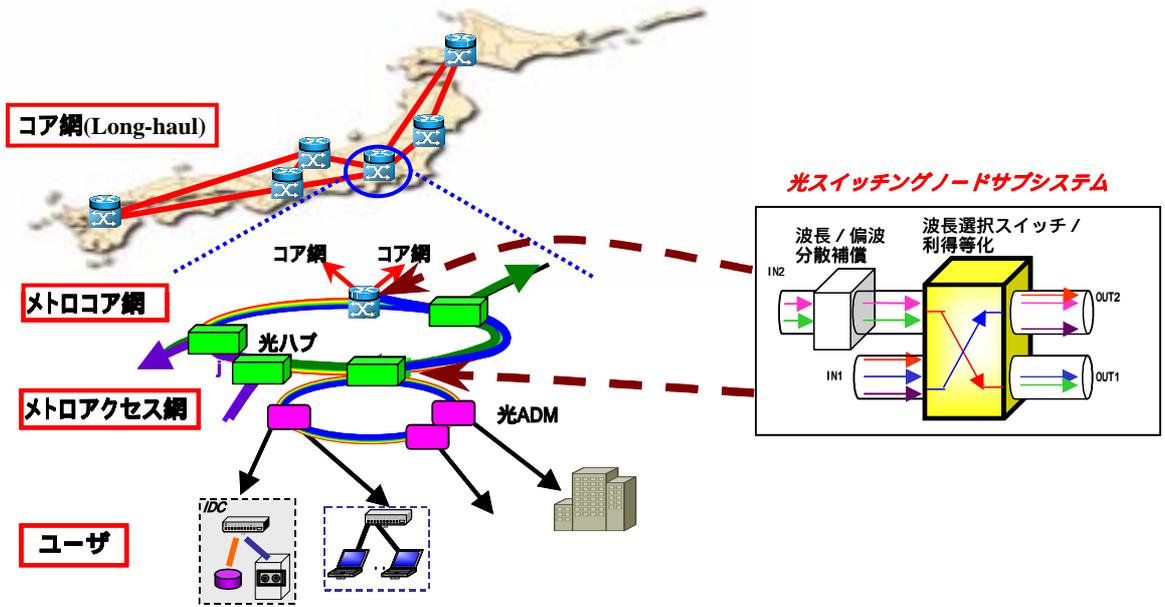


経済的な光ネットワークを実現する高機能集積化 光スイッチングノードの研究開発

民間基盤技術研究促進制度平成15年度採択案件

受託者	富士通(株)
研究開発期間	H15年9月～H20年3月(4年7ヶ月)
研究代表者	河合正昭 富士通(株)光モジュール事業部事業部長付 (兼)富士通研究所ネットワークシステム研究所光モジュール 研究部 部長
概要	<p>波長多重技術を適用した超大容量光通信システムが進展し、FTTH (Fiber To The Home) による常時・双方向・高品質通信が実現する近未来において、ネットワークにボトルネックが生じないようにするため、光領域でアクセス網とコア網を直接接続する新たなフォトニックネットワークアーキテクチャについて提案を行う。具体的には小型・低価格かつフレキシビリティの高い光ハブ機能を提供するとともに、経路切り替えに応じて End-to-end で高品質な通信状態を確保するための各種光補償機能を内蔵する高機能集積化光スイッチングノードについて研究開発を行う。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 本研究開発により、ネットワーク全体が光化され、帯域のボトルネックが解消する。これにより、リアルタイム双方向高品質画像通信サービスの実現が可能となる経済的で広帯域(高速・大容量)なネットワークの実現が可能となる。・ 光通信機器を支える各種光デバイス、素材ビジネスが活性化する。また、ネットワークを活用した様々な AV 機器、コンテンツビジネスが活性化する。 <p>【サブテーマ】 高機能集積化光スイッチングノードサブシステムの開発 波長選択スイッチモジュールの開発 波長分散補償モジュールの開発 偏波モード分散補償モジュールの開発</p>



次世代フォトニックネットワーク